

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,000	△1.1	424	2.2	412	1.4	286	15.8
25年3月期第2四半期	3,035	2.5	415	2.6	407	4.5	247	10.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 238百万円 (1.4%) 25年3月期第2四半期 235百万円 (7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	49.19	—
25年3月期第2四半期	42.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,881	5,348	60.2
25年3月期	8,868	5,198	58.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,348百万円 25年3月期 5,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	6.0	870	4.0	860	3.0	510	1.3	87.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名)株式会社NFテクノコマース
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,270,000 株	25年3月期	6,270,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	447,423 株	25年3月期	446,024 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,822,937 株	25年3月期2Q	5,824,557 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、米国内需の回復基調が続き、政府による経済政策効果や金融緩和策等によって、企業の景況感や収益状況の改善、設備投資の緩やかな回復も一部に見られたものの、欧州経済の停滞、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化などもあり、依然先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品を中心として、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスする等、鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,000百万円(前年同期比1.1%減)、損益面では経常利益412百万円(前年同期比1.4%増)、四半期純利益286百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、当社の技術を活かした新製品としてプログラマブル電流増幅器を上市するなど、継続的な新製品の開発と拡販に努めておりますが、当期においては、LCRメータが電子部品市場等において、また周波数特性分析器がエレクトロニクス市場等において、全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は420百万円(前年同期比17.3%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、保護リレー試験器RX4744を上市するなど、製品の積極的な拡販活動を実施しており、当期においては、コンパクト交流電源が需要面の力強さに欠ける状況でありましたが、系統連系関連装置用の高機能・高性能な交流電源は堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,257百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

《電子部品行業》

電子部品行業は、当社が得意としているアナログ技術をベースにして開発した標準製品である広帯域電流増幅器が寄与しました。また、カスタム製品は、社会インフラ向け市場等において堅調でしたが、大学等の研究分野においては需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子部品行業の売上高は494百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当期においては、系統連系関連装置等が好調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は639百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および仕入商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は188百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は現金及び預金・棚卸資産が増加したものの、売上債権、投資有価証券の売却による減少などにより、前連結会計年度と比較して12百万円増加し、8,881百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、137百万円減少し3,533百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、149百万円増加し5,348百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ601百万円増加し、954百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは284百万円の増加となりました。

これは、棚卸資産の増加189百万円、法人税等の支払195百万円などにより減少したものの、税金等調整前当期純利益469百万円、売上債権の減少405百万円などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは212百万円の増加となりました。

これは、固定資産の取得による支出100百万円、定期預金の預入による支出211百万円などにより減少したものの、定期預金の払戻411百万円、投資有価証券の売却による収入110百万円などにより増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4百万円の増加となりました。

これは、配当金の支払86百万円、社債の償還50百万円などにより減少したものの、短期借入金150百万円が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国を中心に総じて底堅い回復が続くと期待されますが、欧州、中国は持ち直しの兆しがみられるものの先行き不透明感は払拭できておらず、全体としては緩やかな回復に止まるものと考えております。他方、国内においては、景気は底堅く推移していくものと期待されるものの、当社が属する計測器業界においては、その設備投資の回復には依然弱含みの懸念があり、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力に推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動を強力に展開してまいります。

なお、当社は平成25年7月26日に公表しましたとおり、平成25年10月1日に、株式会社千代田の発行済株式を100%取得し完全子会社化いたしました。この結果、当社グループ連結業績予想への影響はありますが、現時点では数値が未確定のため、確定次第お知らせいたします。なお、株式会社千代田は、平成25年10月1日付にて株式会社千代田エレクトロニクスに名称を変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(特定子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において重要性が増したため、株式会社NFテクノコマース(平成25年8月28日にエヌエフ商事株式会社より社名変更)を、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,482	2,876,680
受取手形及び売掛金	2,285,111	1,879,451
商品及び製品	502,031	674,600
仕掛品	512,817	476,938
原材料	473,731	526,223
その他	269,642	252,144
貸倒引当金	△38,725	△34,516
流動資産合計	6,280,092	6,651,522
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,168,541	1,170,570
その他(純額)	661,775	673,716
有形固定資産合計	1,830,317	1,844,287
無形固定資産	142,893	161,484
投資その他の資産	615,683	224,390
固定資産合計	2,588,893	2,230,162
資産合計	8,868,985	8,881,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,442	638,021
短期借入金	14,400	164,400
未払法人税等	191,373	157,765
賞与引当金	231,160	203,084
役員賞与引当金	27,270	—
受注損失引当金	2,960	—
その他	707,173	549,989
流動負債合計	1,829,780	1,713,262
固定負債		
社債	540,000	520,000
長期借入金	924,400	917,200
退職給付引当金	105,937	107,362
長期未払金	108,432	101,606
資産除去債務	—	5,007
その他	161,863	168,963
固定負債合計	1,840,633	1,820,139
負債合計	3,670,413	3,533,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	3,244,129	3,442,636
自己株式	△197,427	△198,280
株主資本合計	5,134,202	5,331,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,369	16,425
その他の包括利益累計額合計	64,369	16,425
純資産合計	5,198,571	5,348,282
負債純資産合計	8,868,985	8,881,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,035,431	3,000,751
売上原価	1,745,997	1,752,876
売上総利益	1,289,433	1,247,874
販売費及び一般管理費	874,293	823,519
営業利益	415,139	424,354
営業外収益		
受取利息	656	632
受取配当金	11,453	6,332
その他	5,346	4,205
営業外収益合計	17,456	11,171
営業外費用		
支払利息	16,829	15,713
売上割引	4,563	5,157
その他	3,769	1,688
営業外費用合計	25,161	22,559
経常利益	407,433	412,966
特別利益		
投資有価証券売却益	—	66,078
特別利益合計	—	66,078
特別損失		
固定資産除却損	1	595
投資有価証券評価損	877	240
投資有価証券償還損	—	100
社葬費用	—	8,377
特別損失合計	879	9,313
税金等調整前四半期純利益	406,554	469,731
法人税、住民税及び事業税	156,200	162,546
法人税等調整額	2,963	20,769
法人税等合計	159,163	183,316
四半期純利益	247,390	286,414

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
四半期純利益	247,390	286,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,109	△47,943
その他の包括利益合計	△12,109	△47,943
四半期包括利益	235,280	238,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,280	238,471
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	406,554	469,731
減価償却費	115,576	79,353
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,378	△4,209
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,337	△2,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,095	△28,076
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,300	△27,270
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,498	1,425
受取利息及び受取配当金	△12,109	△6,965
支払利息	16,829	15,713
有形固定資産除却損	1	595
社葬費用	—	8,377
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△66,078
投資有価証券評価損益(△は益)	877	240
投資有価証券償還損益(△は益)	—	100
長期未払金の増減額(△は減少)	8,282	△6,826
売上債権の増減額(△は増加)	599,661	405,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△345,875	△189,182
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,087	△16,265
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,415	△37,082
その他	△76,018	△95,689
小計	584,341	500,591
利息及び配当金の受取額	12,109	6,965
利息の支払額	△19,448	△18,530
社葬費用の支払額	—	△8,377
法人税等の支払額	△138,832	△195,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	438,170	284,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△211,000
定期預金の払戻による収入	—	411,000
有形固定資産の取得による支出	△51,653	△55,890
無形固定資産の取得による支出	△46,803	△44,421
投資有価証券の取得による支出	△5,277	△2,227
投資有価証券の売却による収入	—	110,532
投資有価証券の償還による収入	—	4,000
その他の支出	△1,539	△710
その他の収入	552	1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,721	212,313

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△7,200	△7,200
社債の償還による支出	△62,500	△50,000
自己株式の取得による支出	△543	△852
リース債務の返済による支出	△4,562	△903
配当金の支払額	△87,427	△86,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292,233	4,233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,215	501,197
現金及び現金同等物の期首残高	463,969	353,244
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	100,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	505,185	954,441

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。